

大山川ニュース NO.8 令和2年 12月

新型コロナで開けた今年もはや 12月です。感染症は世界で益々拡大、当分収まりそうにありません。ウイルスに負けないよう、運動・栄養・休養のバランスを取り**免疫力を高める**ことです。寒い時期ですが大山川の清掃活動等で体を動かして下さい。

1. 11月の活動内容

1) 大山川の散策とごみ拾い

11/28日(土)紅葉の大山川歩きとごみ拾いを行いました。参加者 38名(子ども 2名) 天気も良くいい気分です秋のイベントが出来ました。

*小牧市市民活動ネットワークと南部地域包括支援センターの取材がありました。



2) 花壇整備等

①彼岸花の移植 参加者 5名

11/8 河川敷の球根を花壇と堤防道路の斜面に植える。

②花壇に菜の花を植える。

11/19 参加者 6名



3) ホームページ準備中

①小牧市市民交流テラスのHPで当会の紹介をしています。

*「大山川をきれいにする会」で検索して下さい。

②当会独自のHPを準備中です。

2. 12月の活動予定

不発橋周辺の河川敷の草取りと花壇の整備をします。

都合のいい方は作業に参加してください。



住友理工(株) あったかクラブより当会へ寄付 2,000円をいただきました。

会の活動資金として活用させていただきます、ありがとうございました。

新型コロナ感染症と環境対策

50年前の日本は公害が大問題でしたが、経済成長との両立をやめて解決しました！**コロナ対策も経済との両立では解決しないかもしれません！！**

新型コロナ感染症は世界中で拡大中、特にアメリカ・ヨーロッパの感染は深刻です。日本も第3波で拡大中。世界の感染者は6300万人おそらく1億人になってもおさまらないと思います。

50年前日本は高度成長で豊かになったものの公害が大問題でした。**当時の公害対策は「経済成長との調和を図る＝経済調和条項」**がありました。その結果、四日市ぜんそく・イタイイタイ病・光化学スモッグ等々が発生。**昭和45年の公害国会で「経済調和条項が削除」**され公害対策が進み、技術も進歩して日本は世界に誇れる環境先進国になることが出来ました。*当時はまだ環境という言葉が使われず公害でした。

現在の感染症対策は50年前と同じようなことをしていると思います。世界中がコロナ対策と経済との調和を図る策を取っていますが、経済との両立は不可能ではないかと思います。Go To トラベル、Go To イート等々経済対策も重要ですが、感染症対策が疎かになっていなんでしょうか？

歴史は繰り返すといいますが、人類が同じ過ちを犯していると思います。**感染対策をもっと徹底しないと人類は悲惨なことになると思います。**

<今年の大山川の紅葉>

12月上旬が見頃です

愛知県が河川敷の土砂を削除中です。

